

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	小学校特別教育支援事業
施策体系 <small>(第6次西川町総合計画)</small>	4 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきする町づくり (2) 郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育 学校教育の充実

所管課 ・係	学校教育課		
	教育総務係		
予算 科目	款	10	教育費
	項	2	小学校費
	目	1	学校管理費

2 事業の概要

事業目的	発達に遅れが見られる児童が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにすることや、可能な限り障がいのない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図ること
事業内容	学習支援員の配置(4名) ・特別支援学級には在籍していないが、知的な遅れが若干見られ、当該学年の学習内容が定着しない児童に対する支援員の配置 ・知的な遅れはそれほどみられないが、発達障がいが見られ、大勢の中で集中できない児童に対する支援員の配置 ・特別支援学級在籍児童が、通常学級で学習する場合の支援員の配置

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,452	補正額等		合計	5,452	決算額	5,439
備考							

4 事業の実施状況

・学習生活指導補助員 勤務の実態 勤務日数 210日 勤務時間 1日6時間×4人	・学校生活における特別に支援が必要な児童に対する指導・支援活動
--	---------------------------------

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	適切に対応している 概ね対応できている ほとんど対応できていない	支援が必要な児童に対して、適切な支援を行うことで、障がいのない児童との交流及び共同学習を積極的に進めることができた。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	十分に効果が得られている ある程度の効果が得られている 効果があまり得られていない	学校全体による、学習生活指導補助員の資質向上に努め、特別な支援が必要な児童に対して適切に対処することができた。
有効性	期待された成果は得られたか	期待した成果が得られている 概ね期待した成果が得られている 期待した成果があまり得られていない	児童の学習の様子、学習内容の定着、学校生活の様子から期待した成果が得られた。

6 今後の対応等

方向性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	障害者基本法の改正、学校教育法施行令の改正や国が提唱している「共生社会」を構築していくためには、これまで以上に、障がいを持たない児童との交流体験活動を充実させる必要がある。多様な学びの場の提供や一人一人のニーズに対応した教育を充実させるために、今後より一層、特別教育支援事業は拡充していかなければならない。また、小学校卒業後の進路を決定するために、特別支援学級の小中連携が必要である。